

## 2 現在公開しているデジタルアーカイブについて

ここからは、現在公開しているデジタルアーカイブについてまとめる。なお、1館で複数のデジタルアーカイブを公開している場合があるため、館ごとではなくデジタルアーカイブごとに集計をおこない、まとめている。

### (1) 導入時期

導入時期については、都道府県立図書館では「2014年以前」が20件(46.5%)で最も多く、次いで「2015～2019年」が9件(20.9%)となっている。市区町村立図書館では「2015～2019年」が68件(31.8%)で最も多く、次いで「2014年以前」が50件(23.4%)となっている。(図5.3)

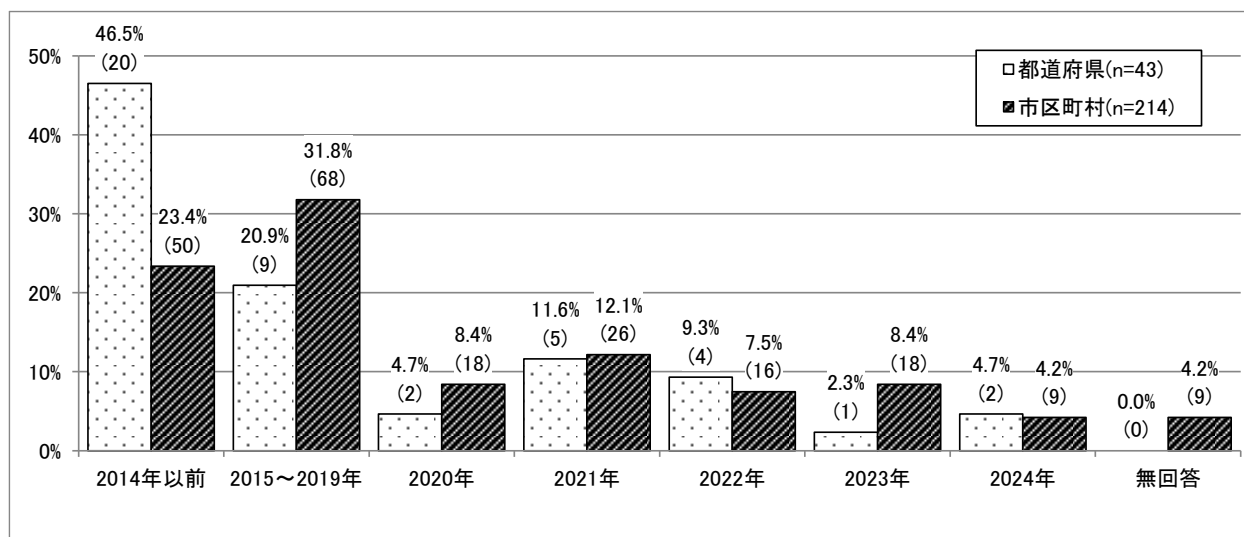


図 5.3 導入時期

### (2) 設置形態

設置形態については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「デジタルアーカイブ独自」が最も多く、それぞれ26件(60.5%)、151件(70.6%)となっている。都道府県立図書館ではこれに「図書館システムと一体」が15件(34.9%)で続くが、市区町村立図書館では「その他」が34件(15.9%)で2番目に多くなっている。(図5.4)

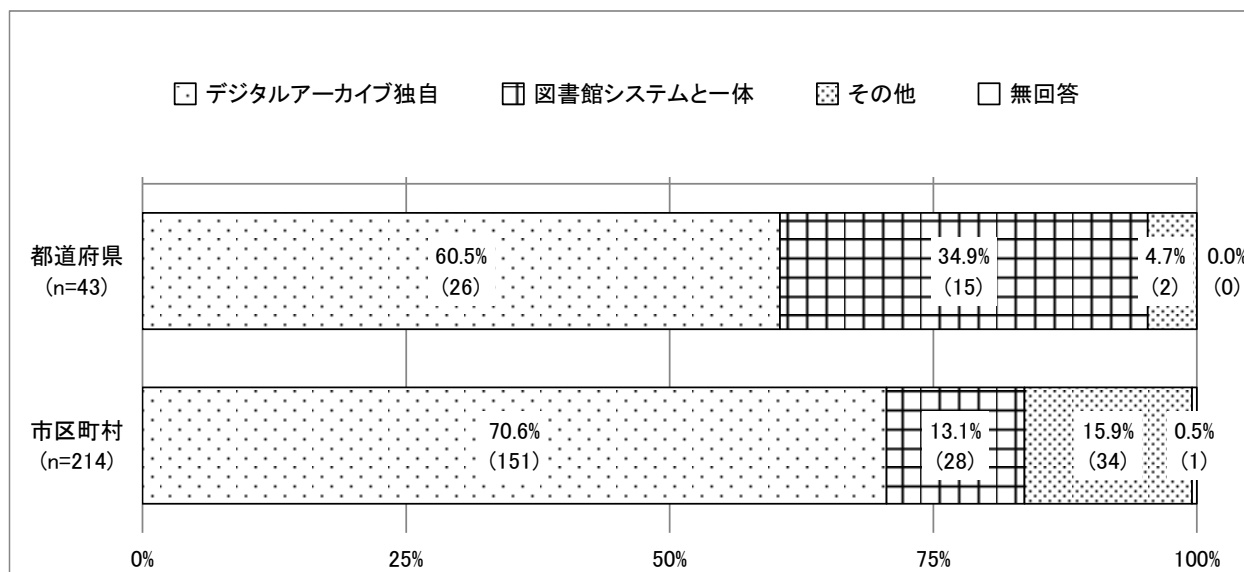


図 5.4 設置形態

### (3) デジタルアーカイブのシステム

デジタルアーカイブのシステムについては、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「パッケージ(ADEAC等を利用した)」が5割を超え、それぞれ24件(55.8%)、118件(55.1%)となっており、これに「独自に開発した」がそれぞれ11件(25.6%)、52件(24.3%)と2割台半ばで続いている。(図5.5)

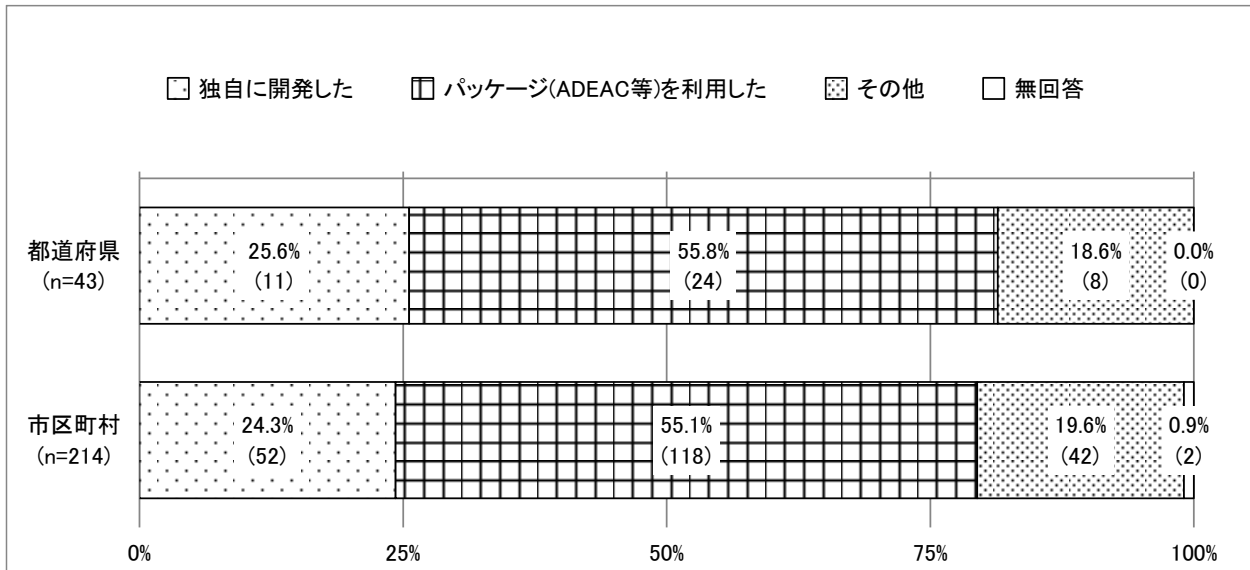


図 5.5 デジタルアーカイブのシステム

### (4) 公開状況

公開状況については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「Web上で公開」が最も多く、それぞれ42件(97.7%)、188件(87.9%)となっている。(図5.6)

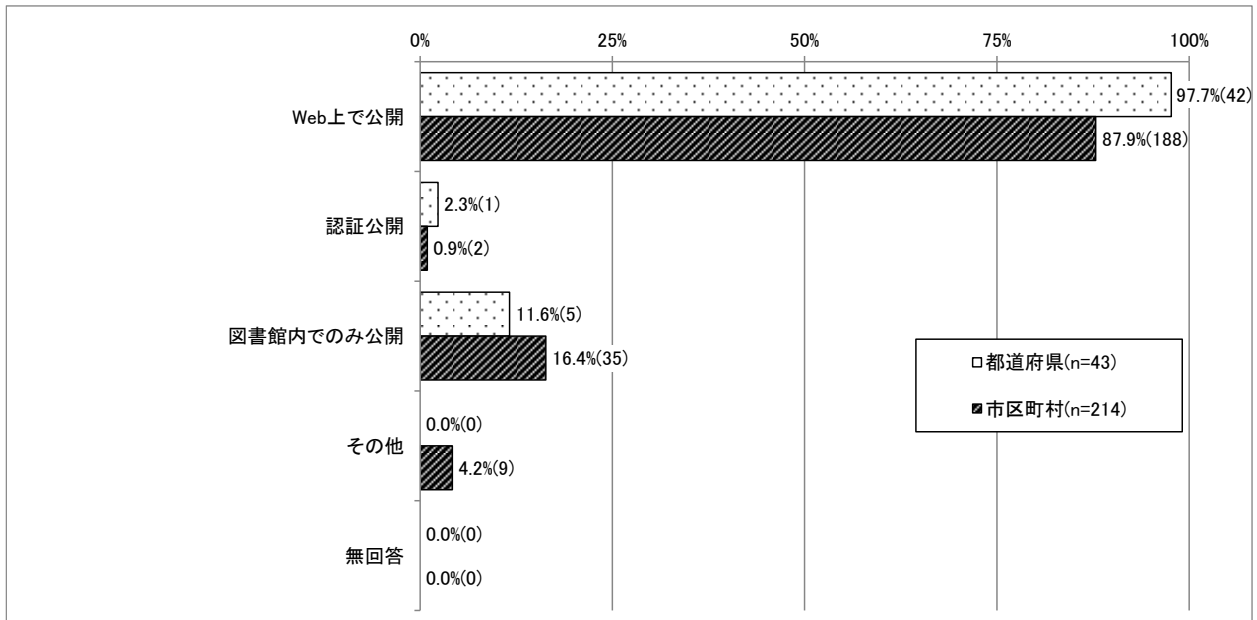


図 5.6 公開状況

### (5) データ件数

データ件数については、都道府県立図書館では「1,000件以上」が23件(53.5%)で最も多く、「100～500件未満」と「500～1,000件未満」がそれぞれ8件(18.6%)となっている。

一方、市区町村立図書館では「10～100件未満」が52件(24.3%)で多く、「1,000件以上」は43件(20.1%)となっており、都道府県立図書館と比べると件数が少ない。(図5.7)

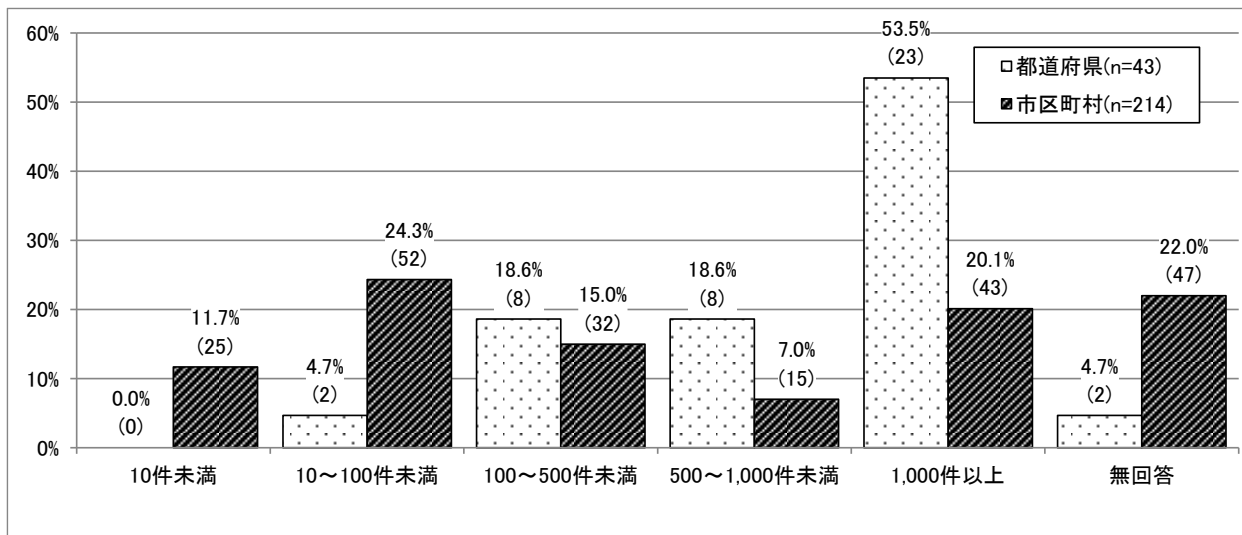


図 5.7 データ件数

### (6) ファイル形式

ファイル形式については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「JPG」が最も多く、それぞれ34件(79.1%)、132件(61.7%)となっている。都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「PDF」が4割を超えて2番目に多く、それぞれ21件(48.8%)、99件(46.3%)となっている。(図5.8)

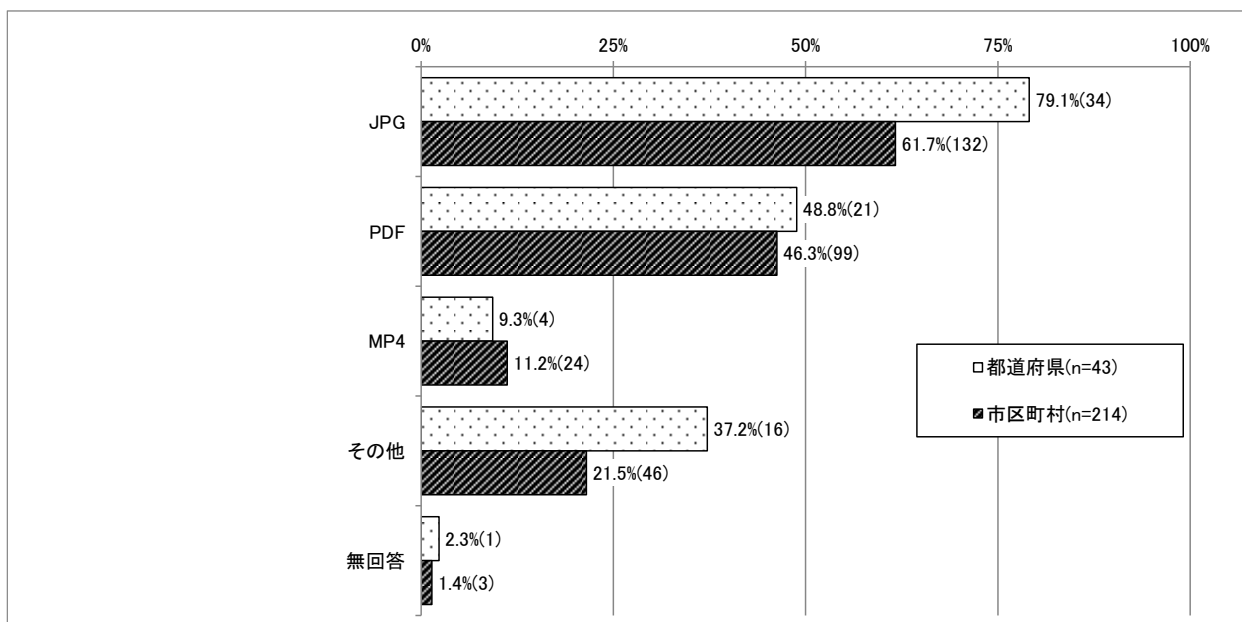


図 5.8 ファイル形式

### (7) 更新頻度

更新頻度について、都道府県立図書館では「年に1回程度」が19件（44.2%）で多く、次いで「年に数回程度」が14件（32.6%）となっている。

一方、市区町村立図書館では「公開後の更新なし」が96件（44.9%）で多く、「年に1回程度」が63件（29.4%）、「年に数回程度」が34件（15.9%）となっている。（図5.9）

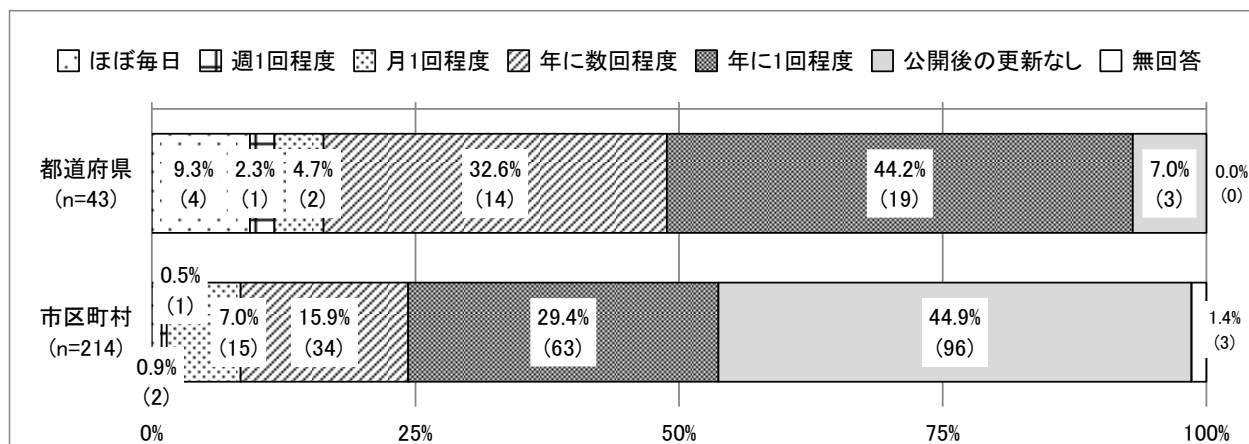


図 5.9 更新頻度

### (8) 公開しているコンテンツ

公開しているコンテンツについて、都道府県立図書館では「地図」と「古文書・和漢本」がいずれも 37 件 (86.0%) と多く、次いで「写真・絵ハガキ」が 28 件 (65.1%)、「浮世絵・絵画」が 25 件 (58.1%) となっている。

一方、市区町村立図書館では「写真・絵ハガキ」が 112 件 (52.3%) で最も多く、次いで「地図」が 91 件 (42.5%)、「古文書・和漢本」が 84 件 (39.3%) となっている。(図 5.10)

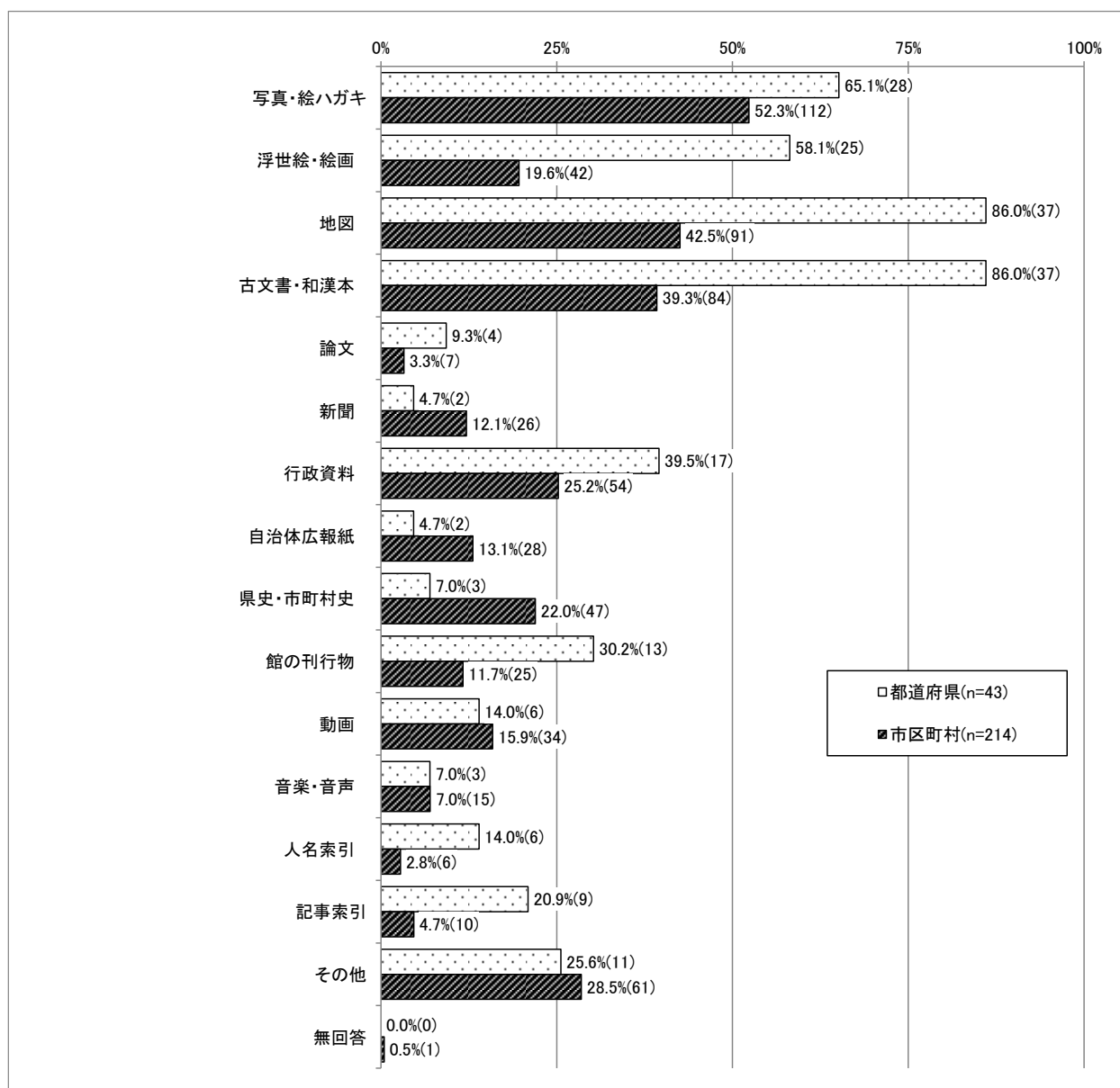


図 5.10 公開しているコンテンツ

(9) 利用規約明示の有無

利用規約明示については、都道府県立図書館では「あり」が35件(81.4%)で多くなっている。市区町村立図書館でも「あり」が116件(54.2%)で「なし」の96件(44.9%)を上回る。(図5.11)

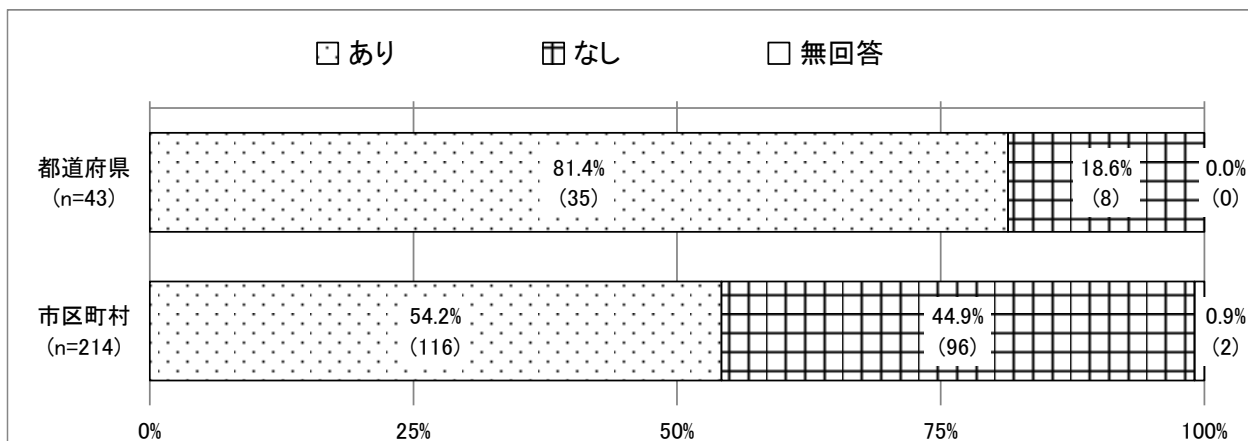


図 5.11 利用規約明示の有無

(10) 固定リンクの有無

固定リンクについては、都道府県立図書館では「あり」が35件(81.4%)で多くなっている。市区町村立図書館でも「あり」が129件(60.3%)で「なし」の79件(36.9%)を上回る。(図5.12)

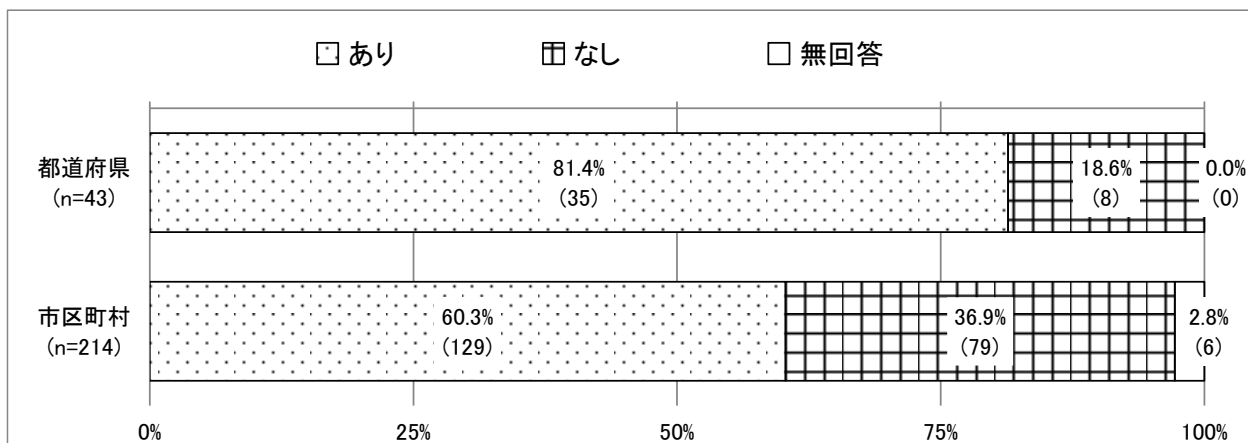


図 5.12 固定リンクの有無

### (11) サムネイルの有無

サムネイルの有無については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「全てあり」が5割を超えており、それぞれ25件(58.1%)、120件(56.1%)となっている。都道府県立図書館ではこれに「一部あり」が15件(34.9%)で続くが、市区町村立図書館では「なし」が49件(22.9%)で2番目に多くなっている。(図5.13)

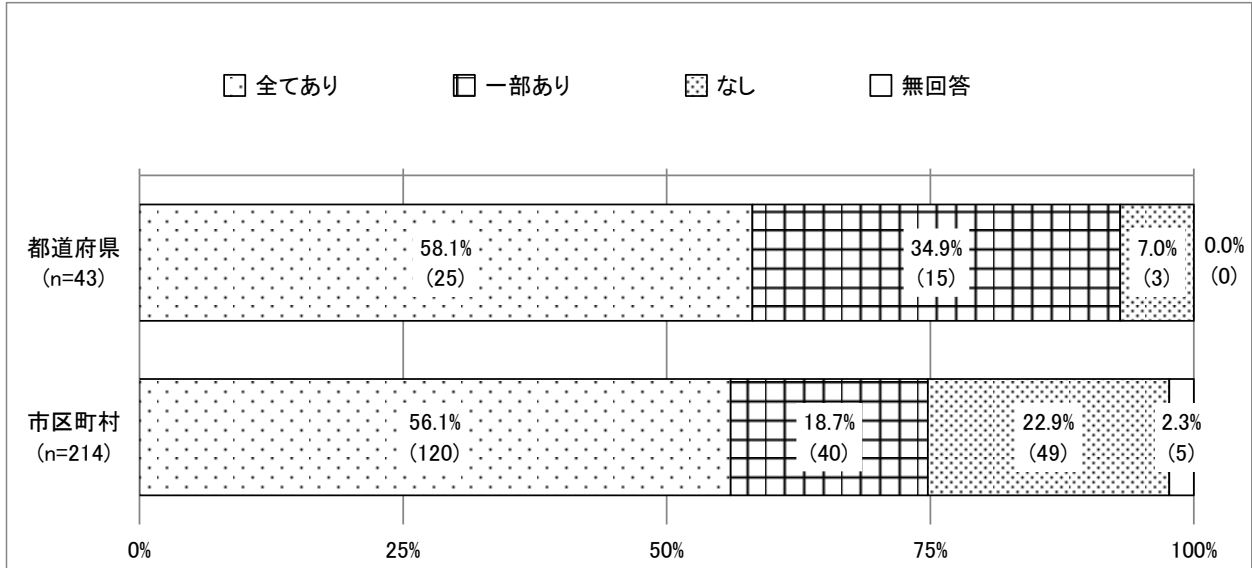


図 5.13 サムネイルの有無

### (12) テキスト化の有無

テキスト化については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「なし」が最も多くなっているが、それぞれ32件(74.4%)、118件(55.1%)となっており、都道府県立図書館の方が「なし」の割合が高い。「一部あり」は都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに2割を超え、それぞれ11件(25.6%)、57件(26.6%)となっている。「全てあり」との回答は都道府県立図書館ではみられないが、市区町村立図書館では34件(15.9%)となっている。(図5.14)

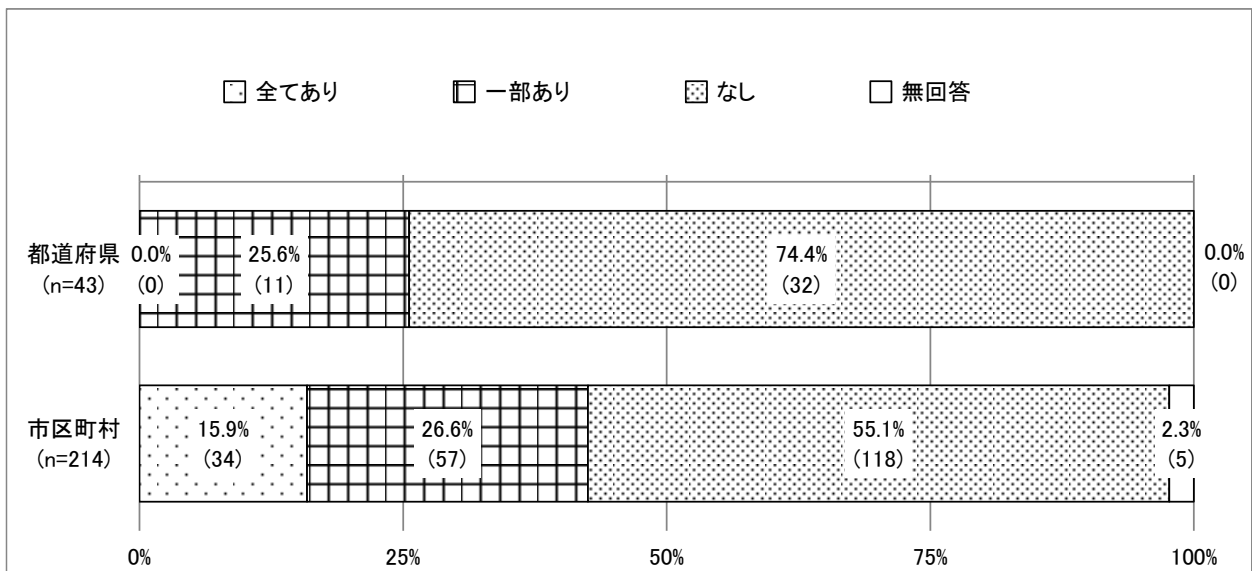


図 5.14 テキスト化の有無

(13) DOI の付与

DOI の付与については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「予定なし」が最も多くなっているが、それぞれ 34 件 (79.1%)、193 件 (90.2%) となっており、市区町村立図書館の方が「予定なし」の割合が高い。都道府県立図書館では「検討中」が 7 件 (16.3%) となっている。(図 5.15)

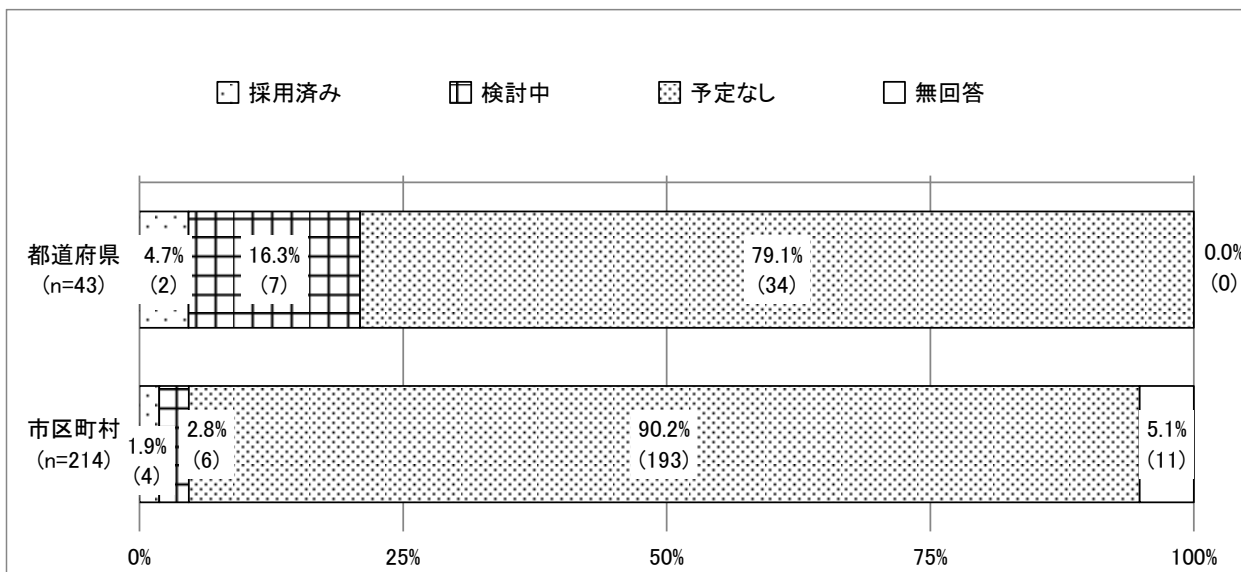


図 5.15 DOI の付与

(14) IIIF 対応

IIIF 対応について、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「予定なし」が最も多くなっているが、それぞれ 21 件 (48.8%)、177 件 (82.7%) となっており、市区町村立図書館の方が「予定なし」の割合が高い。都道府県立図書館では「採用済み」が 16 件 (37.2%)、「検討中」が 6 件 (14.0%) となっている。(図 5.16)

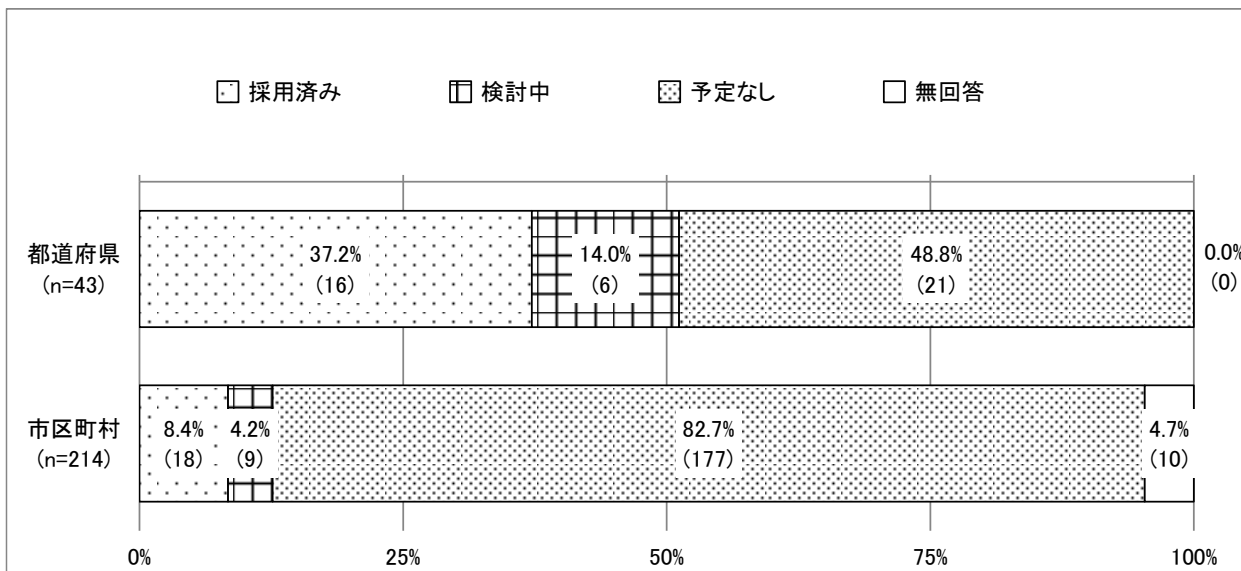


図 5.16 IIIF 対応

(15) 活用しているライセンス

活用しているライセンスについて、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「ライセンスを活用していない」が最も多くなっているが、それぞれ24件(55.8%)、168件(78.5%)となっており、市区町村立図書館の方が「ライセンスを活用していない」の割合が高い。「CCライセンス」を活用しているのは都道府県立図書館では18件(41.9%)、市区町村立図書館では34件(15.9%)となっている。(図5.17)

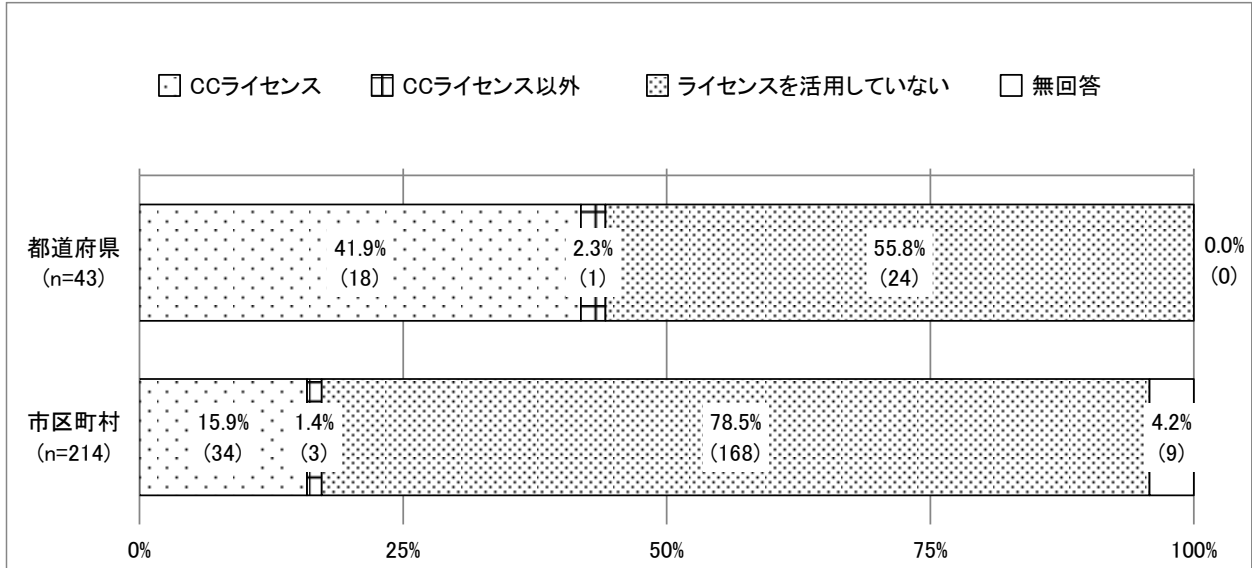


図 5.17 活用しているライセンス

(16) メタデータについて

ア メタデータの有無

メタデータについては、都道府県立図書館では「あり」が39件(90.7%)と約9割を占める。

市区町村立図書館でも「あり」が117件(54.7%)で最も多くなっているが、都道府県立図書館と比べると割合は低く、「なし」も86件(40.2%)と約4割存在している。(図5.18)

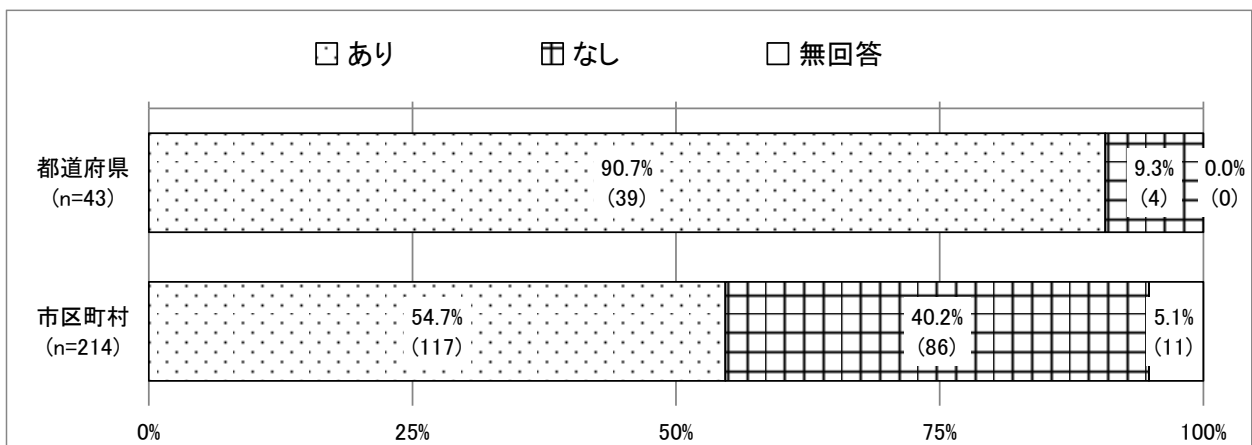


図 5.18 メタデータの有無

### イ メタデータのウェブ公開の有無

メタデータのウェブ公開について、都道府県立図書館では「あり」が36件（83.7%）で多く、「なし」は7件（16.3%）となっている。

市区町村立図書館では「あり」が103件（48.1%）、「なし」が95件（44.4%）で、メタデータのウェブ公開がされているものとされていないものの割合が拮抗している。（図 5.19）

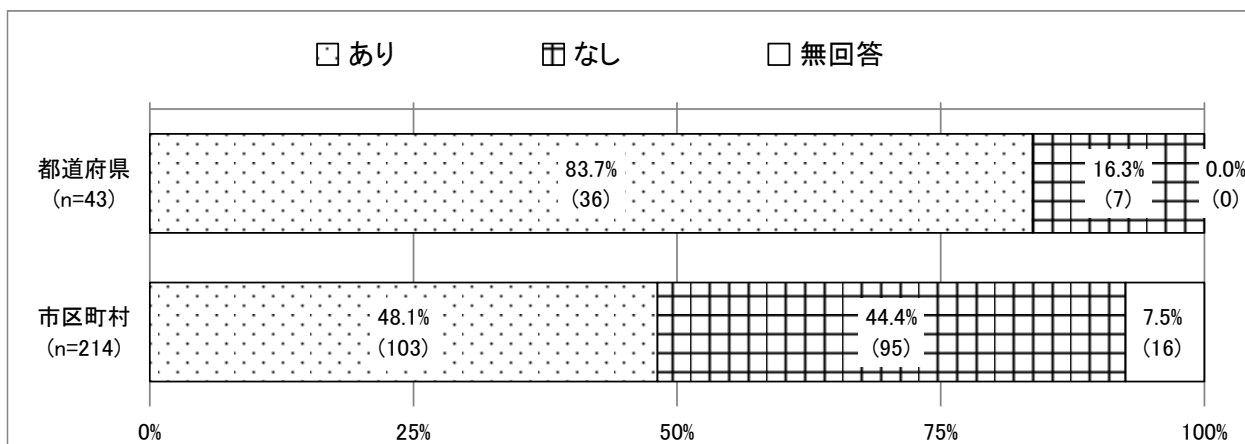


図 5.19 メタデータのウェブ公開の有無

### ウ メタデータのダウンロードの可否

メタデータのダウンロードについては、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「否」が7割を超え、それぞれ33件（76.7%）、160件（74.8%）となっている。（図 5.20）

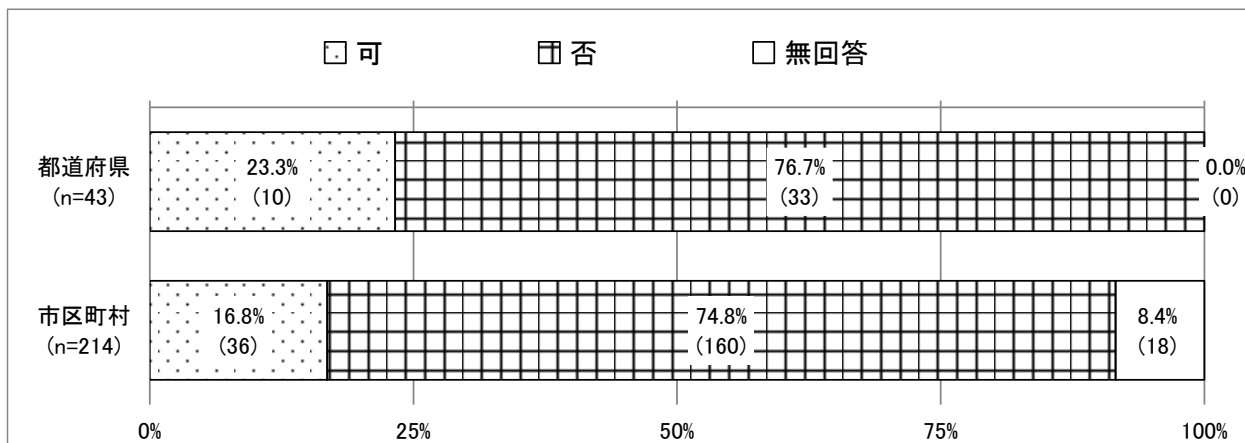


図 5.20 メタデータのダウンロードの可否

## エ 基本的なメタデータの他に、デジタル資料管理のために追加している項目

基本的なメタデータの他に、デジタル資料管理のために追加している項目として回答された内容を見ると、「ファイル形式」、「大きさ」、「資料種別」、「所蔵機関・所蔵元・出典（所有）」などがみられる。

## オ メタデータのバックアップ方法

メタデータのバックアップ方法について、都道府県立図書館では「自館内のサーバー」が 24 館（55.8%）で最も多く、次いで「自館外のサーバー」と「メディアに格納」が 9 館（20.9%）となっている。

一方、市区町村立図書館では「バックアップしていない」が 52 館（24.3%）と多く、「自館内のサーバー」は 50 館（23.4%）、「自館外のサーバー」は 47 館（22.0%）となっている。（図 5.21）

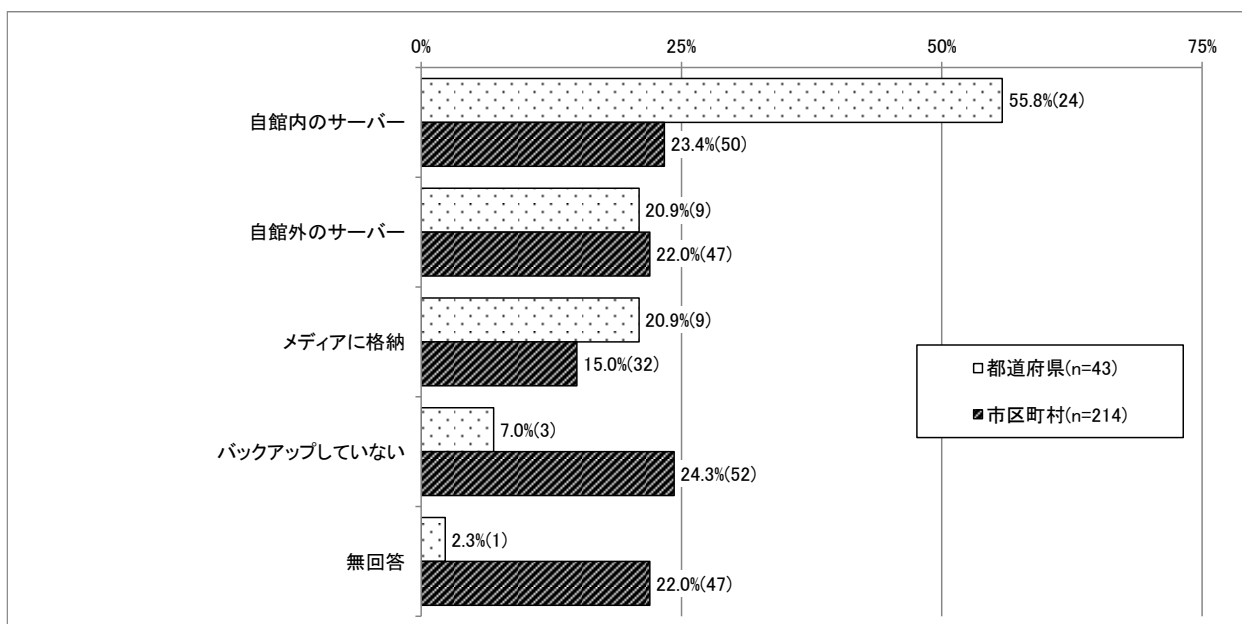


図 5.21 メタデータのバックアップ方法

(17) 構築時の予算について

ア 構築時の予算(自館の人件費は含まない)

構築時の予算について、無回答を除くと都道府県立図書館では「1,000万円以上」が5件(11.6%)、「100万円以上500万円未満」が3件(7.0%)となっている。

一方、市区町村立図書館では「100万円以上500万円未満」が27件(12.6%)、「1,000万円以上」が26件(12.1%)となっている。(図5.22)

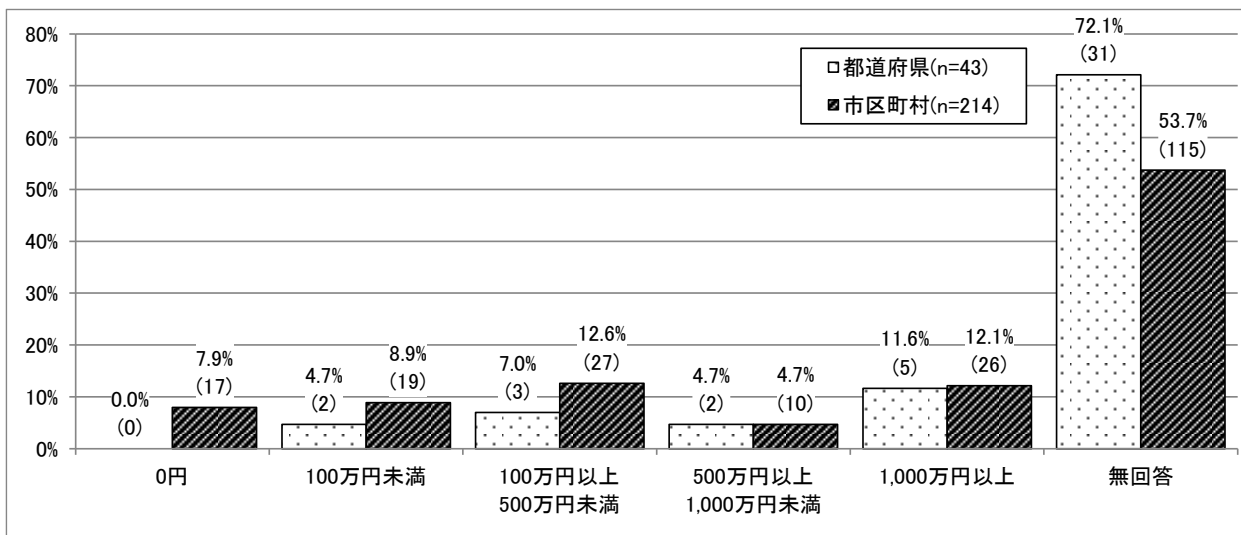


図 5.22 構築時の予算(自館の人件費は含まない)

イ 構築予算の出所

構築予算の出所については、都道府県立図書館では「予算要求を行い新たに予算が付いた」が18件(41.9%)で最も多く、次いで「その他」が16件(37.2%)などとなっている。市区町村立図書館では「補助金」が73件(34.1%)で最も多く、次いで「予算要求を行い新たに予算が付いた」が63件(29.4%)となっている。(図5.23)

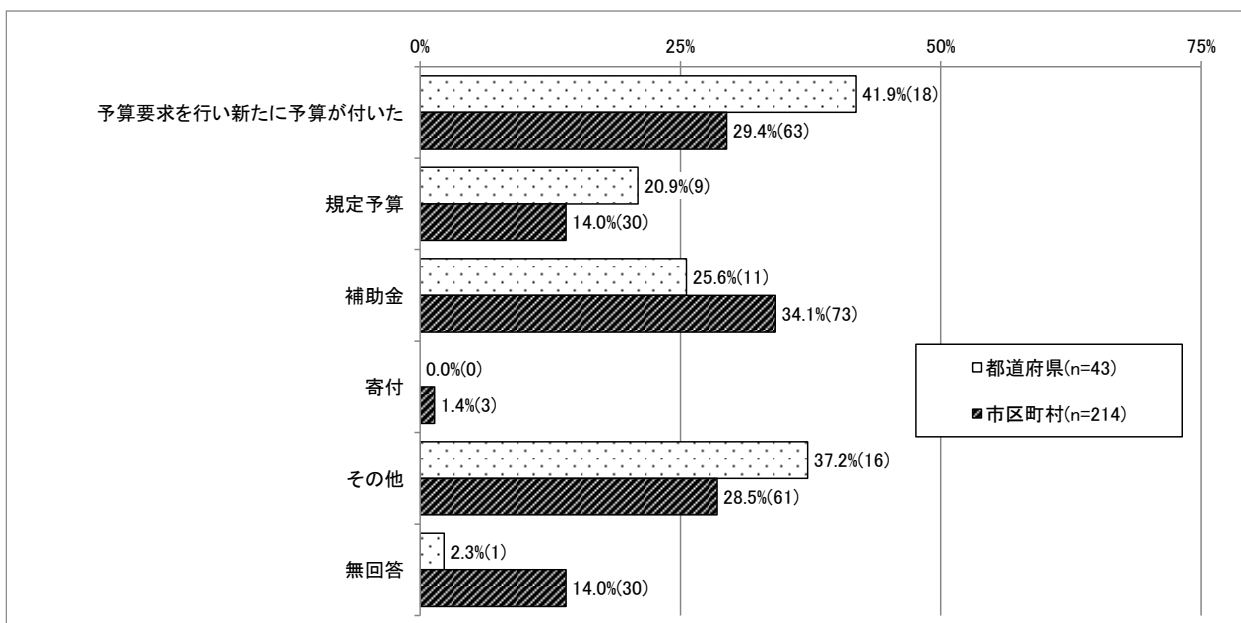


図 5.23 構築予算の出所

(18) 運営予算

ア 年間運営予算(自館の人件費は含まない)

年間運営予算について、都道府県立図書館では無回答を除くと「10万円未満」、「50万円以上100万円未満」、「400万円以上」が3件(7.0%)となっている。

一方、市区町村立図書館では無回答を除くと「10万円以上50万円未満」が42件(19.6%)、「10万円未満」が40件(18.7%)で、50万円未満のものが多くなっている。(図5.24)

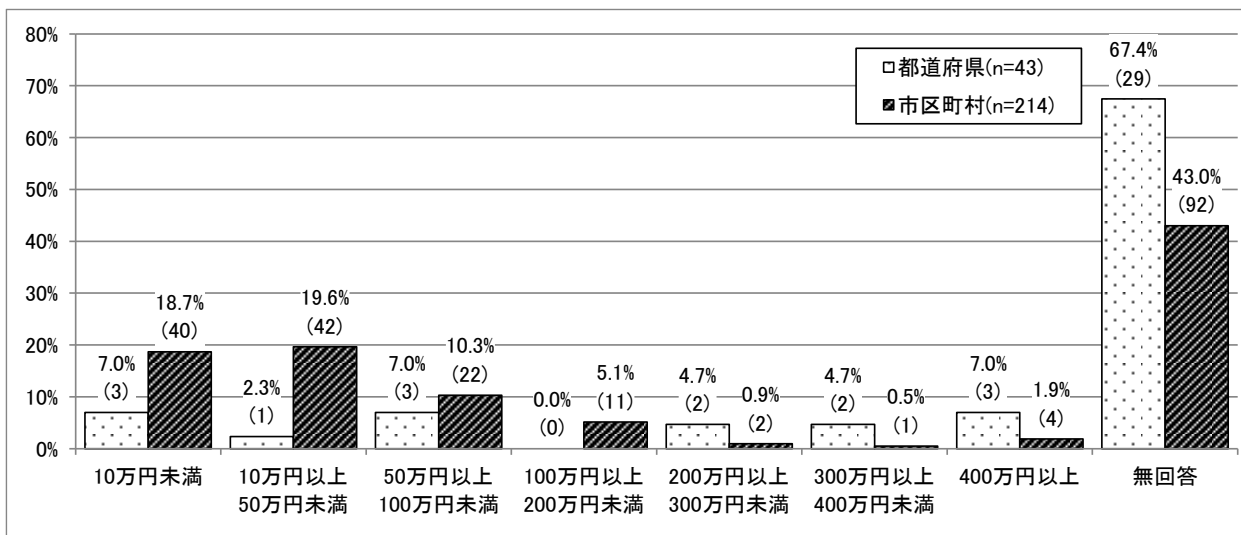


図 5.24 年間運営予算(自館の人件費は含まない)

イ 運営予算の出所

運営予算の出所については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「規定予算」が最も多く、それぞれ24件(55.8%)、83件(38.8%)となっている。(図5.25)

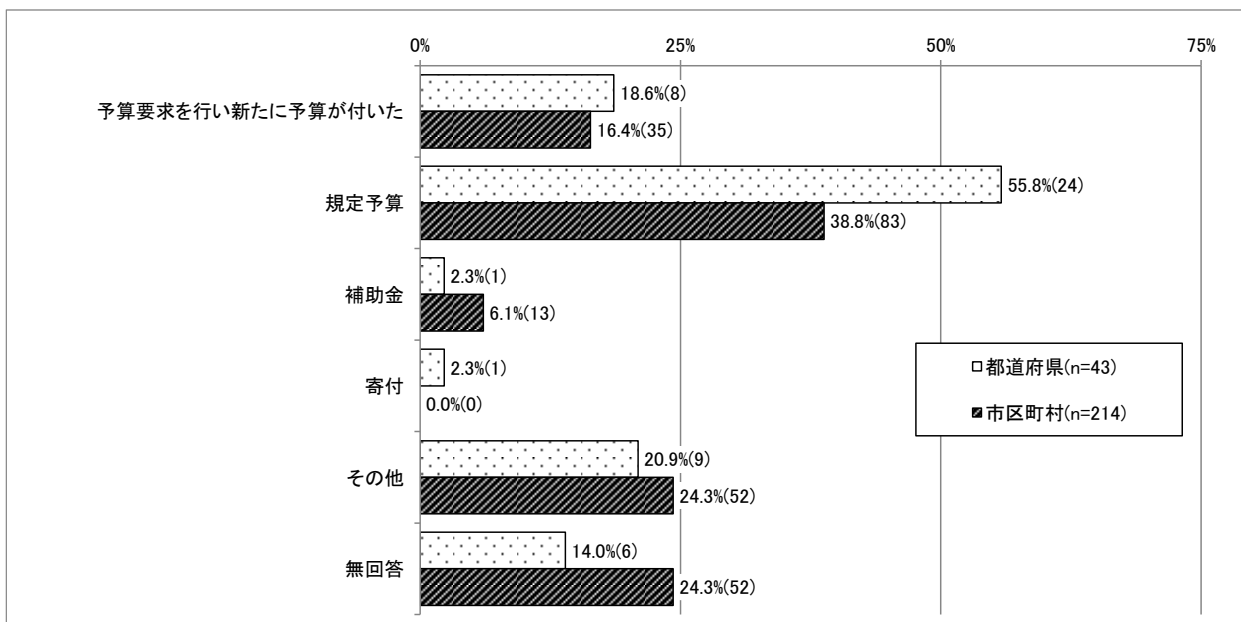


図 5.25 運営予算の出所

(19) 2023 年度の延べアクセス数

2023 年度の延べアクセス数については、都道府県立図書館では「10 万件以上」が 11 件 (25.6%) で最も多く、「1 万件以上 5 万件未満」が 10 件 (23.3%)、「1,000 件以上 1 万件未満」が 9 件 (20.9%) となっている。市区町村立図書館でも無回答を除くと「10 万件以上」が 26 件 (12.1%) で最も多く、次いで「1,000 件以上 1 万件未満」が 21 件 (9.8%)、「1 万件以上 5 万件未満」が 15 件 (7.0%) となっている。(図 5.26)

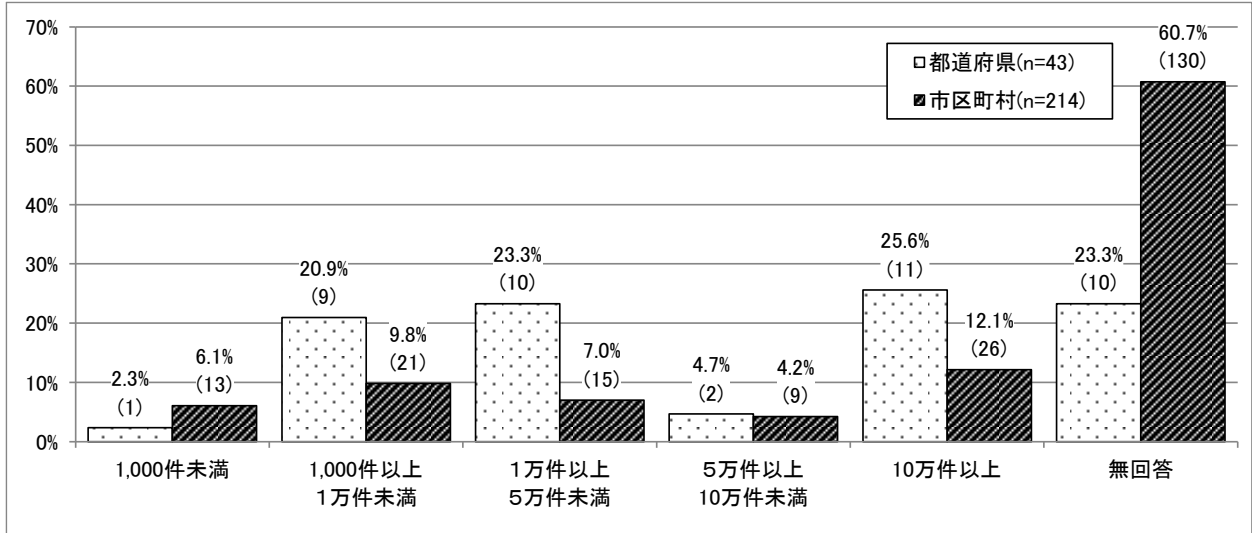


図 5.26 2023 年度の延べアクセス数